

安定型狭心症と急性冠症候群に分類され、急性冠症候群はさらに ST 上昇型と非上昇型に分類される。ST 上昇型への治療は血栓融解療法、冠インターベンションがあるが現在冠インターベンションが 9 割をしめている。治療を行う理由として梗塞範囲の減少、不整脈の抑制、治癒への改善促進がある。TIMI スタディでは TIMI 分類の確立が、ミシシッピースタディでは発症 1 時間以内での血栓融解で死亡率が減少したことが報告された。その後は内服薬の種類やそのコンビネーション、早期治療の重要性を示唆するスタディが多々報告されている。また冠インターベンションと血栓融解療法で死亡率や治療までの時間がどうであるかの比較検討も行っている。しかしながら血栓融解 + 冠インターベンションは死亡率が増加したためスタディは中止されている。ST 低下型では内服薬、特にスタチン、抗血小板剤内服の有効性についてのスタディがある。とにかく重要なのは経過観察するより早期に確定診断を行い、治療方針を決定する事である。